

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 マジョリティ・エース	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.560	△RG 0.037	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：マジョリティ・エース

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：スーパー・マジョリティ

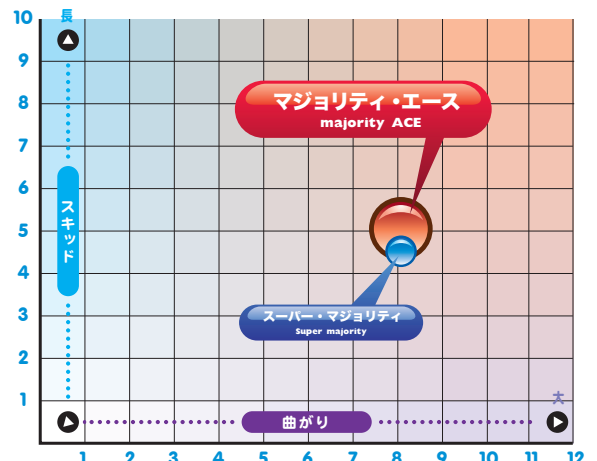
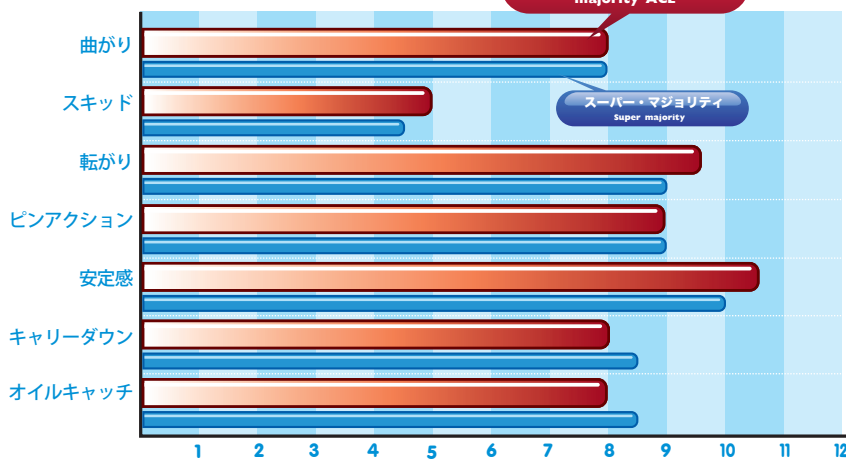
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

カバーストックの進化は止まることなく、年々吸油量が増えていくボール開発事情を踏まえると、現在流通しているボールのほとんどがミディアムコンディション以上というのも必然であり、当然の結果と言えるのかもしれませんが。

その中でもPro-amモデルのmajorityはミディアム領域に特化したコンセプトで、競技者のセカンドボールまたは曲がりを取めるためや、ビギナーからのステップアップなど、ミディアム以下にパフォーマンスを抑えながらも高品質なスペックのため、多くのボウラーに様々な目的で使用していただいています。

今までのmajorityシリーズは一貫して同じコアで数値も変えず、カバーストックの素材のみでパフォーマンスを変化させてきましたが、今回のmajority ACEでは初めてコアを変更し、同じ形状でも数値をアップグレードさせています。

コアの数値をグレードアップさせることで動力を強化し、より扱い易くボールチェンジ時の差を少なくしているのもmajority ACEの特徴であり、「弱すぎず強過ぎない」領域が競技ボウラーに留まることなく、ステップアップの方にも的確なパフォーマンスを発揮してくれるでしょう。

前記の通り、コアをアップグレードさせたため、前回のSuper majorityのHybridカバーからPearlに変更してパフォーマンス調整を行いました。今までの歴代majorityと比較しても、このmajority ACEが一番扱いやすく曲がりを読みやすいのが特徴であり、コアの数値の変化がパフォーマンスにより良い結果をもたらしていると思えます。

曲がり始めの安定感は前作より遥かに増しており、軌道の読みやすさからの的確なライン取りが出来るでしょう。

特記事項

ミディアム領域最高峰を目指し、拘りつくされたmajority ACE。競技ボウラーからステップアップまで使用でき、安定した軌道と曲がりの読みやすさが秀でた逸品です。